

災害時の保健活動から見たこと ～阪神淡路大震災から平成30年7月豪雨災害まで～

発達障がい者総合支援センター
次長 犬伏明美



派遣毎の変化（環境面）

- 阪神淡路大震災（医療班）；堅くて冷たい食事、つながらない携帯、寝袋
- 中越沖地震（避難所・訪問）；井、FAX報告、夜遅くまでの活動、
記録が大変、月明かりでの仮設トイレ、着替えボックス
- 東日本大震災（仙台市避難所・訪問）；携帯、食事自前
- 東日本大震災（気仙沼市避難所訪問）；ダンボールハウス
- 熊本地震（益城町関西広域連合保健医療福祉連絡員）；
タブレット、プリンター、段ボールベッド、アマゾン
- 鳥取地震（湯梨浜町訪問）；SNS
- H30年7月豪雨災害（倉敷市避難所）；ほこり



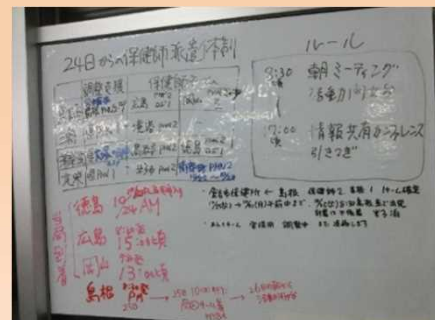
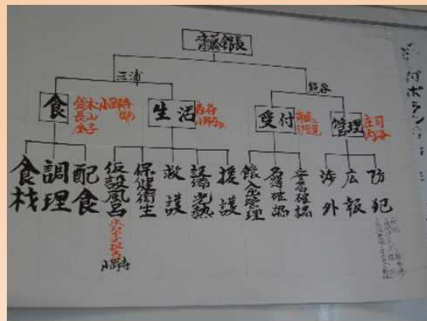
印象に残ったこと 1

- 阪神淡路大震災(医療班);地元と支援者間の情報共有??
- 中越沖地震(避難所・訪問);アルコール依存症、ひきこもり、産婦、新生児など
地域の縮図
- 東日本大震災(仙台市避難所・訪問);東京での帰宅難民・子どもをさがしに～
- 東日本大震災(気仙沼市避難所訪問);兵庫県チームとのミーティング
- 熊本地震(益城町関西広域連合保健医療福祉連絡員);地元職員の疲弊、職員配置
- 鳥取地震(湯梨浜町訪問);県⇒県への事前情報
- H30年7月豪雨災害(倉敷市避難所);ミーティングが多い。ビブスを脱いたら～



印象に残ったこと 2

- 阪神淡路大震災(医療班);薬を処方するだけでない
- 中越沖地震(避難所・訪問);プチカフェ、生活全体を見る
- 東日本大震災(仙台市避難所・訪問);保健師のブレーン
- 東日本大震災(気仙沼市避難所訪問);NPOによる本部機能、私設避難所
- 熊本地震(益城町関西広域連合保健医療福祉連絡員);ミーティング情報を保健師へ、
ローラー実施まで
- 鳥取地震(湯梨浜町訪問);平時からの台帳整備、町災対本部への参加??
- H30年7月豪雨災害(倉敷市避難所);些細なことも避難所本部で判断



H30年7月豪雨災害（倉敷市避難所）

- 健康管理と環境整備
- 避難者の自立（役割）



支援者としてできること

- 指示待ちでなく自分で考えて動く
exp リスト一覧に記録、会えないときは時間・曜日を変えてラウンド
- 提案ばかりして地元負担をかけない
- ときには矢面に立つことも
- 支援も受援もふだんやっているようにしかできない(活動の仕方、姿勢、書類の作り方等)



平時からの準備など

- 保健活動に必要な幅広い知識と技術
（特別な力は不要・生活をみる）
- 職員の防災意識向上
- 受援体制、台帳整備、様式枠のデータ等
- 新しい地図
- 住民参加の避難所運営訓練
- 避難所にいる人だけが被災者でない。避難できない理由がある。



お世話になりました

